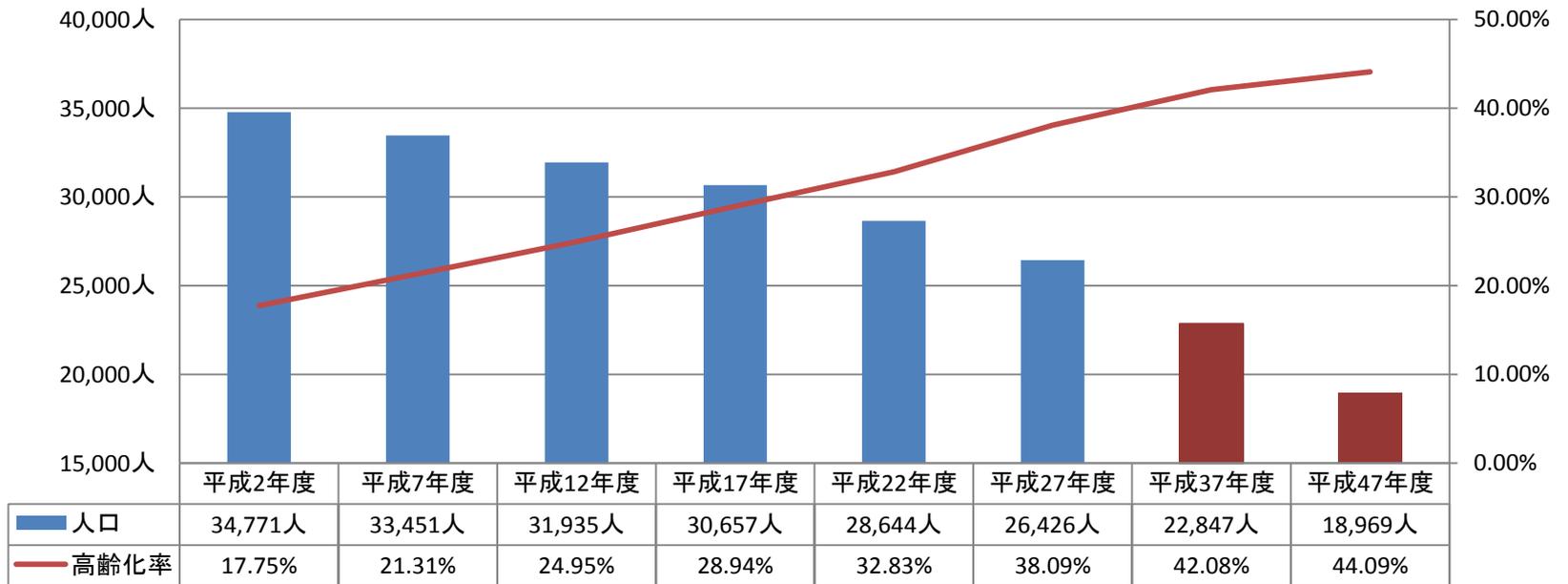


竹原市地域公共交通現状分析調査事業の概要

■現状・背景

○人口減少と高齢化の進展

竹原市人口及び高齢化率の推移



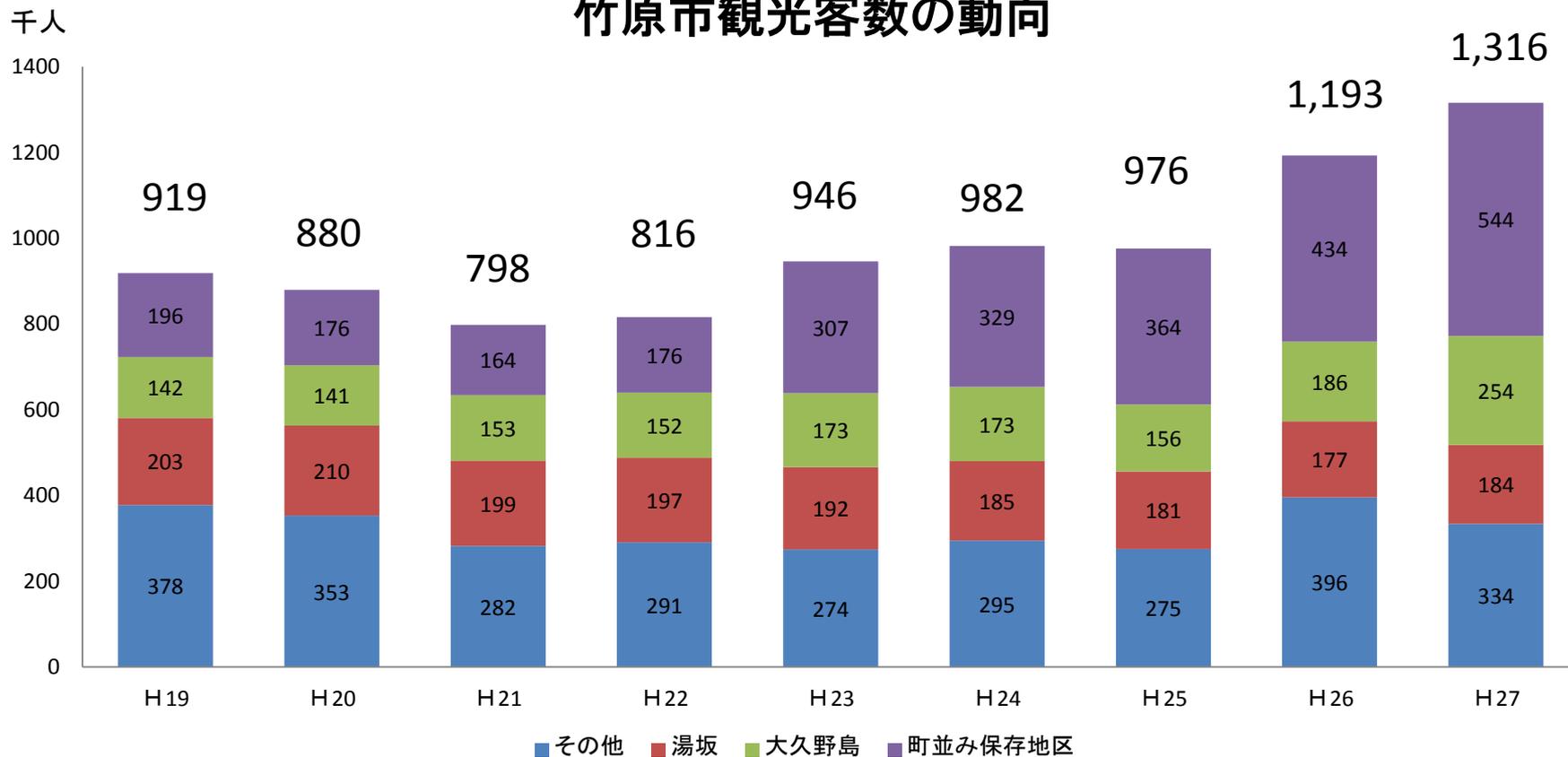
資料: 昭和60年度から平成27年度の実績 国勢調査

平成37年度・平成47年度の推計 国立社会保障・人口問題研究所

竹原市地域公共交通現状分析調査事業の概要

○観光客数の増加

竹原市観光客数の動向



資料: 竹原市観光客統計調査

竹原市地域公共交通現状分析調査事業の概要

○課題

- 高齡化の進展により、安全で快適な“移動”ができない市民が増加する可能性がある。
- 観光客は増加傾向にあるが、市外からのアクセスや市内を回遊するための公共交通が充実していない。
- 市民のマイカーへの依存度が高いため、公共交通利用者は減少傾向
- バスに対する市の補助額は今後増加する可能性がある。

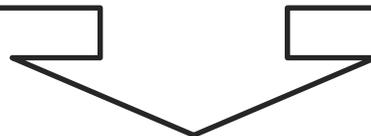


これらの課題解決や持続可能な公共交通ネットワークを実現するには、十分な現状分析や詳細な調査が必要

竹原市地域公共交通現状分析調査事業の概要

■竹原市地域公共交通現状分析調査事業の目的

以下の事項を議論するベースとなる基礎資料
・基礎データを取得するため、調査事業を実施



《議論する事項》

- 将来にわたる持続可能な地域公共交通の形成
- 本市の地域公共交通全体としての今後のあり方・方向性
- 将来のまちづくりを見据え、今後取り組むべき事業の方向性

竹原市地域公共交通現状分析調査事業の概要

■竹原市地域公共交通現状分析調査事業の調査内容

○ 本市の現状整理

人口や施設の分布状況，公共交通の種類やダイヤなど

○ OD調査

路線バス，福祉バスの乗車地点，降車地点，乗車人数，利用目的など

○ アンケート（市民，高校生，公共交通利用者，観光客）

公共交通の利用実態，ニーズ把握，公共交通への考え方

○ 交通事業者に対する聞き取り（JR，バス，航路，タクシー）

近年の利用動向や取り組んだサービス改善等の事例・成果・課題
運行事業者としての考え 等